



新しい救急・救助体制

湯河原町消防署 ☎60-0179

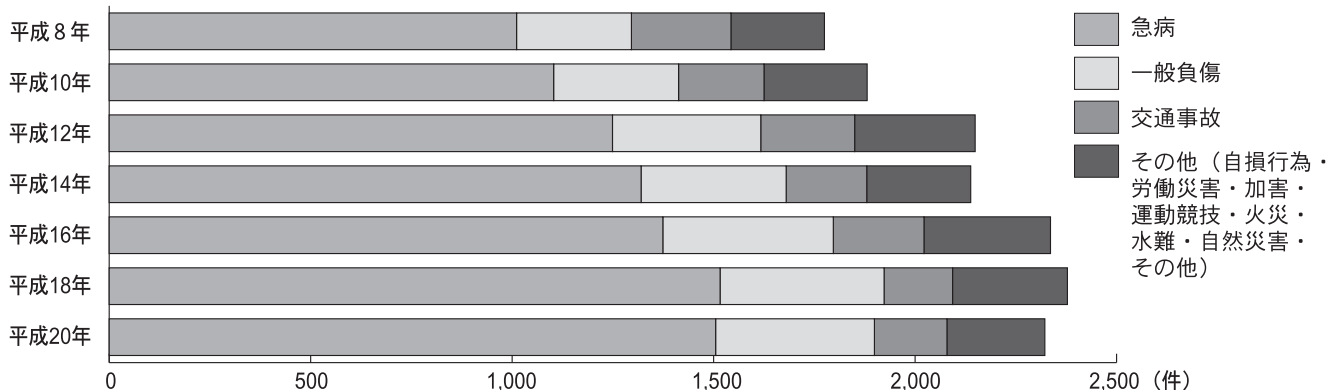
今回の特集は「救急・救助」です。救急・救助の現状とこれからのあり方について、湯河原町消防署長の齋藤茂さんにお話を伺いました。

1日6.3回の出動

グラフは、原因別出動件数を表したものです。平成20年中に湯河原町消防署の救急車が出動した回数は2,322件で、1日当たり6.3回出動したことになります。平成8年に比べると約1.3倍で、近年は、横ばいとなっていますが、全体的に増加傾向にあります。

また、出動件数の内訳を見ると、急病が最も多く、出動件数全体の約65%を占めています。次に、一般負傷、交通事故の順になっています。

【グラフ】原因別出動件数



時代に即した救急・救助

町には、消防署・分署を合わせて、3台の高規格救急自動車と1台の救助工作車があります。年間で約2,300件もの出動になると、1台当たりの年間走行距離は約3万kmにもなるため、定期的に車両の更新をしなければならず、最近では平成20年11月に高規格救急自動車を1台更新しました。

また、近年では、世界的なテロの脅威の高まりを背景に、自治体や防災関連機関でNBC災害（次ページ参照）対策の必要性が重要視されているほか、地震や豪雨などの大規模災害の被災地に派遣された際に対応できる資機材の整備も行っています。



新しい救急車のサイレンは、従来の高低切替型のサイレンと異なり、夜間の住宅地などでも不快な音にならないように改良された、ハーモニックサイレン搭載型となりました。



<イーバック+チェア>

エレベーターなどが使用できないときに、身体が不自由な方、歩行が困難な方を階段を使用して安全、円滑、迅速に建物外へと避難させることができます。

10kg～136kgの体重の方を、ゴムローラーベルト付のイス型タンカで階段を円滑に滑降します。平坦なフロアに到達した後は補助輪を降ろすことにより、乗り換えることなく、車椅子のように迅速に、安全に、搬送ができます。

